

- チーム医療「排尿ケアチーム」
- AYA世代のがんについて
- がん相談支援センターのご紹介
- クリスマスイルミネーションを展示しました
- 患者案内システムを導入します
- 病院への入館制限と、入館時の検温のお願い
- 患者満足度調査を実施しました

チーム医療『排尿ケアチーム』

排尿ケアチーム

滋賀医科大学医学部附属病院では、様々な多職種専門チームが活動しており、医師、看護師、理学療法士など各種の医療従事者がお互いの専門性を活かしたチーム医療に取り組んでいます。その中で今回は、令和2年9月に発足した「排尿ケアチーム」をご紹介します。

排尿ケアチームとは



病気や治療のために尿道カテーテルを使用された患者さんを対象に、尿道カテーテルを1日も早く抜去し、尿路感染を防ぐとともに、自力で排尿管理ができるように導くことで患者さんのQOL（Quality of Life：生活の質）の向上を目標に活動しているチームです。

排尿ケアチームは泌尿器科医師、看護師、理学療法士の3職種で構成しています。それぞれの専門知識を活かし、個々の患者さんの状態に合わせた排尿ケアを患者さんへ提案します。

活動内容

尿道カテーテルを抜去した後に、尿が漏れる・1日15回以上の排尿がある（重度の頻尿）・1回の排尿で尿を完全に押しきれずに膀胱内に残る（排尿困難）・尿が出ない患者さん、またはそのような症状の出現が見込まれる患者さんを対象に週1回、病棟への回診を行っています。

まず、病棟看護師が対象となる患者さんを抽出し、排尿後に膀胱内にどのくらい尿が残っているかを調べたり、排尿時間や排尿量を記録する排尿日誌を用いて排尿状態の評価を行います。その情報をもとに排尿ケアチームが薬物療法や尿道口からカテーテルを挿入して尿を出す方法の指導、おむつやパット・排尿に用いる排泄用具の選択、排尿を行う環境の調整、骨盤底筋体操やトイレ動作に向けたリハビリテーションなど、包括的な排尿ケア計画を立案します。その計画をもとに、病棟看護師・主治医とともに計画に沿った排尿ケアを患者さんに提供します。

退院後は泌尿器科外来を定期的に受診していただき、排尿日誌や問診によって自宅での排尿状況を確認、必要に応じて尿検査や超音波検査で膀胱内を確認しながら、継続した排尿ケアを患者さんに提供しています。

排尿ケアチームからのメッセージ

排尿ケアチームは令和2年9月から活動を開始したばかりで、まだまだ発展途上のチームですが、定期的にチームカンファレンスを開いて排尿ケア計画内容を見直すなど、より良い排尿自立支援ができるよう努めています。入院中、排尿のことでお困りの方は、相談の窓口となりますので、お気軽にご相談ください。



AYA世代のがんについて

腫瘍センター



AYA（アヤ）世代とは、

Adolescent and **Y**oung **A**dultの略で、思春期・若年成人のことを指します。

AYA世代は様々なライフイベントを経験する世代です。AYA世代でがんを経験することは、身体面だけでなく、精神面、社会面への影響も大きく、年代や個人によって異なるこの世代特有の悩みがあると言われています。

またAYA世代のがんは、小児がんと成人がん両方の多様ながん種が存在する一方、罹患率は低いため、周囲に同年代の仲間を見つけにくい側面があります。医療者側もAYA世代への診療経験が蓄積されにくいのが現状です。

腫瘍センターでは、学校のこと、仕事のこと、外見ケアのこと、将来、お子さんを持つことについてや経済的な不安、親兄弟・お子さんへの支援など、多様な悩みに対し、院内外の関係者と連携し全人的にAYA世代のがん患者さんを支援する取り組みを行っています。

最近の話題：AYAweek2021 [2021年3月14日～3月21日]

AYA世代のがんについて国民に広く知ってもらい、若くしてがんになっても、生きやすい社会をつくることを考える1週間。この期間に、全国各地でAYA世代がんに関連したイベントが展開されます。当院でも、正面玄関への企画展示などを行います。

AYAweek2021ホームページURL：<https://ayaweek.jp>

今知ること、変わることがある。
「知ろう、一緒に。」

がん相談支援センターのご紹介

腫瘍センター

当センターでは、がん患者さん及びご家族に対する相談支援及び情報提供を行っており、治療を受ける上での不安や悩み、仕事や暮らしのことなどについて、がん専門相談員の医療ソーシャルワーカーや看護師がご相談をお受けしています。

ご希望の方は、がん相談支援センターまでご予約ください。

- ◆受付時間：月曜～金曜 9時～17時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
- ◆相談方法：面談、電話、メール（原則60分以内）
- ◆電話：077-548-2859／Eメール：gsoudan@belle.shiga-med.ac.jp

最近の話題：毎年2月4日は、大津市「がんについて考える日」

当センターが、大津市の広報番組「光ル☆おおつ」（びわ湖放送）で紹介されました。放送された動画は、YouTubeに『光ル☆おおつ「がんになっても一人じゃない～頼れる療養のサポーターたち～』で掲載されています。

本動画へのURL：<https://youtu.be/y6beW5-bVqU>



クリスマスイルミネーションを展示しました

看護部

毎年たくさんの方からご好評をいただいておりますクリスマスイルミネーションを、今年度も病院・大学職員が力を合わせて展示しました。病院玄関陶板前には大きなツリーとトナカイを飾りました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、面会や外出の制限など様々なご協力をいただいております入院中の患者さんへ向けて、入院生活に少しでも明るい光が届きますよう、病棟内から見える場所を選んで飾りました。

院内各所を彩った光は、12月2日～12月25日までの期間でお楽しみいただきました。



令和3年5月、患者案内システムを導入します

医療サービス課

当院では、令和3年5月から新機能を備えた患者案内システムを導入します。現在、各診療科外来などでは、患者さんのお名前をお呼びしておりますが、プライバシー保護の観点などから改善を要望するご意見も寄せられていました。

今回のシステムでは、患者さんが来院時に受付をされますと、受付番号を印字した受付票が出力され、その受付番号を用いて、各診療科外来等の待合スペースに設置した案内用のディスプレイに診察待ち状況を表示します。また、診察室へのお呼び出しも受付番号で行います。



さらに、スマートフォンを利用されている方には、診察予約状況の確認や予約日前日に受診のお知らせ、診察当日のお呼び出しなどが行えるシステムも導入します。

患者さんに、便利さや快適さを提供できるよう計画しておりますので、ぜひ、ご利用ください。

診察室	診療科/担当医	診察中	診察室前でお待ちください		
1 診	消化器内科 山田 耕太郎	105	106	107	108
2 診	消化器内科 埼玉 次郎	007	009	011	012
3 診	消化器内科 神楽川 花子	325	326	337	328
4 診	血液内科 茨城 一	550	555	557	558
5 診	血液内科 新木 三郎	900	901	902	

◆患者様へ・・・診療の状況により診察の順番が前



病院への入館制限と、入館時の検温のお願い

医療サービス課

当院では、これまで、病院への入館についての制限を設けておりませんでした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染拡大防止対策の強化及び院内セキュリティの強化のため、令和2年10月26日(月)から、入館時間を「平日の8時から19時まで」と制限し、それ以外の時間は正面玄関の内側の扉を閉鎖することとしました。

同時に、入館される全ての方を対象に、正面玄関にて検温を実施し、必要に応じて問診票などで体調を確認させていただいております。

救急外来へ連絡をされて受診される方や、治療の説明などのために当院から来院をお願いした方などは、制限時間外であっても専用の入館手続き後に、入館していただけます。

来院されるみなさまへ

病院への入館制限について

正面玄関の内側扉を次のとおり閉鎖いたします。

時間 平日 19時～翌朝8時
土日祝 終日

開始日 令和2年10月26日(月)

【運用変更理由】
新型コロナウイルス感染症拡大防止・セキュリティ強化のため、入館される全ての方を対象に、正面玄関にて検温や問診票などで体調を確認させていただくことになりました。ご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

滋賀医科大学医学部附属病院
SHIGA UNIVERSITY OF MEDICINE AFFILIATED HOSPITAL



平日8時前に来られた方については、8時までお待ちいただくこととなりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

さらに、令和3年2月から、入院される全ての患者さんに対し、入院日の前日にPCR検査を実施させていただくことになりましたので、併せてご案内いたします。

患者満足度調査を実施しました

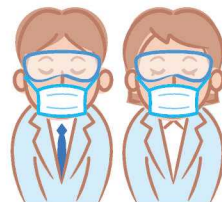
患者サービス向上委員会

令和2年11月26日(木)に外来患者さん、11月1日(日)～30日(月)に入院患者さんを対象に、患者満足度調査を実施しました。回答にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。

皆さんからいただきましたご指摘、感謝のお言葉、当院に対するたくさんのご意見をもとに、信頼・安心・満足していただける病院を目指し、今後も医療の提供、サービスの向上に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応について、皆さんから心のこもった温かい励ましのお言葉を多数いただきました。私ども職員にとりまして、大きな心の支えと励みになっております。心より感謝申し上げます。

患者満足度調査の結果につきましては、院内の掲示にてご覧いただくことができます。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第60号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供できる病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全な病院経営を目指します